

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立西岡南小学校 第3学年 124名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（社会、道徳、総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・北国札幌らしいスポーツを活用した公共施設などの場所と働きなどについて調査、見学をとおして、札幌市の特色やよさに気付く。 ・冬季札幌オリンピック開催の事実との出会いから、オリンピック・パラリンピックの精神や札幌の未来について考える活動を通して、ふるさと札幌のよさを愛する心をもつ。
5 取組内容	○指導計画 ・「社会」3時間、「道徳」1時間、「総合的な学習の時間」1時間 ○取組の様子   <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックって、こんなに続いているんだね。 ・札幌で開かれたなんて、すごいね。 ・パラリピアンに初めて会ったよ。かっこいいね。 ・世界で戦っているなんて、すごいね。 ・パラリンピックのことが少し分かったよ。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> •「東京オリンピック2020」開催が迫るこの時期、子どもの中でも話題に上がることが増えている。また、「アジア大会2018ジャカルタ」をテレビで観戦していた子どもも少なくない。こうした中、オリンピック・パラリンピックについて知っていることを子どもに問うことで、世界的なスポーツ大会であることや、インクルーシブな考えに基づいていることについて話し合う活動を行うことができた。 •オリンピック・パラリンピックの素晴らしさやその効果に気付いた子どもが、札幌で冬季オリンピックが開催された事実と出合うことで、札幌の特色やそのよさについて考えるきっかけをつかむことができた。 •札幌オリンピックミュージアムの施設見学と、大倉山ジャンプ競技場のリフト乗車、さらに大倉山山頂からの札幌市見学を通して、北国らしいスポーツが発展していることを知ったり、大都市札幌を眼下にジャンプする競技者の卓越した力を想像したりすることができた。 •オリンピックの講話から、障がいの有る無しに関わらず、スポーツをとおして育まれる心の素晴らしさや尊さ、努力することのかけがえのなさを感じることができた。 •五輪通りを走るバスの中から、真駒内競技場や五輪橋に刻まれているオリンピックエンブレムを見付けたり、大倉山山頂から知っている建物や施設等を見付けたりすることから、本事業を通して子どもは、札幌市の特色やよさをより身近に感じることができた。 •札幌市教育委員会発行の「オリンピック・パラリンピック教育副教材」を活用することで、授業準備を短時間で行うことができた。
<p>7 実践において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> •オリンピック・パラリンピックについて詳しくなるというのではなく、その歴史や関わってきた人々の思いに触れることを大切にした学習展開を心がけた。 •校区からほど近い場所に、かつてのオリンピック施設があることを教材化し、冬季札幌オリンピックをより身近に感じられるような授業展開とした。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> •オリンピックに係る講話や、その歴史の説明等が大変充実していたことから、体験施設を十分に児童が利用することができなかった。（対象学年が3年生ということから、体験施設の利用時間拡充などして、子どもの体験活動時間を増やすとよい。） •本事業未実施学校等の児童生徒への働きかけ及びオリンピックミュージアム施設の教育的効果方法の紹介を行う。
<p>9 今後の取組について</p>	<p>この活動を教育活動に位置付けるよう、次年度も検討したい。</p>